



'78-24, 1978, color felt-pen on photograph, 50x50cm  
©The Estate of Kazuyo Kinoshita, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

## 木下 佳通代

### 「等価に存在する何か。」

前期：2017年3月18日（土） - 4月8日（土）

後期：2017年4月13日（木） - 4月28日（金）

※レセプションパーティーは開催致しません。

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206

営業時間：12:00-19:00 定休日：日、月、祝 ※4月11,12日は展示替えのため休廊

2017年3月18日(土)より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuにて、木下佳通代展「等価に存在する何か。」を開催いたします。

1939年に神戸に生まれ60年代から作家活動を始めた木下佳通代は、94年に亡くなるまで”我々が存在する世界の中における存在とは何か”という問いを、作品を通して概念化し続けた作家でした。

木下の作品制作への始まりは、自己の存在を確認することから始まります。物を相対的なものとして捉えれば、存在の在り方は希薄になっていきます。自身の存在も希薄になっていくことに恐怖を覚えたという木下の制作は、それを取り除くために制作を行い、制作することで自己確認を行い、自身の中に生まれた不安を埋めるという作業を繰り返すこととなります。

戦後、50年代半ばから70年代初頭にかけて、関西では具体美術がアートシーンの中心となりますが、その一方で、60年代から70年代初頭にかけては、ハイレッドセンター、ネオダダや九州派、時間派といったハブニング、イベントといったパフォーマンスを中心としたグループが、反芸術運動の気運のもと、全国に次々と形成されていきます。そうした時代の境界で活動を始めた木下は、66年に初めての個展を行い、また65年から68年まで、神戸で河口龍夫をリーダーとし結成されたグループ”位”と行動を共にします。木下の極めて強い概念的な本質性は、こうした時代背景と、そのような活動を通してより開けていくこととなります。

同じものを見ているつもりでも、人によって見るもの、見えているものは違うということ。こうした認識の差異こそがその存在を多様なものにするが、実在は一つでしかない。木下は、絶対的存在と相対的存在の間にある実在性を、視覚的に表現しようと試みました。個々が受容する際に生じる差異性と普遍性を同化させること、内側と外側を等価にしてしまう在り方を、制作を通じて生涯求め続けたのです。

そうした概念を表現するために、木下にとって写真は都合のよい媒体でした。

目の前に一枚の写真があるとすると、それが例え一点であっても、見る人の捉え方によっては違った意味をそれぞれにもたらすこととなります。10人が同時に見れば、10人各自の認識によって、10の存在の在り方が生まれます。

そうした認識による存在の多様性を視覚化するために、写真の複数性という属性が必要だったのです。

こうして、70年代半ばまでは主に写真を用いて制作してきた木下でしたが、70年代の後半からは、平面と空間における存在の在り方、存在そのものを平面上で作るといった新たな表現の試みへと移行していきます。

これまでの自己の概念的なものへのこだわりを捨て、限られた平面をいかに自立させて積極的に存在させるか、言葉を超えて、より自由な精神の開放の場としての絵画を求めたのです。

木下は、80年代から絵画を本格的に描いていきますが、その時期はちょうど世界的にニューペインティングが出現してきた時期と重なります。しかし彼女が到達しようとした先は、全てが等価となり絶対的な存在となる世界を画面の中で成立させるという、新しい概念的絵画の誕生にありました。

本展では、初期の写真作品と晩年まで描き続けた絵画作品を前期、後期に分けて紹介します。この機会に是非ともご高覧ください。



## ■作家プロフィール

### 木下 佳通代 (Kazuyo Kinoshita)

- 1939 兵庫県神戸市に生まれる  
1962 京都市立美術大学西洋画科卒業  
1989 兵庫県立近代美術館賞（第13回現代日本美術展、東京都美術館）  
1994 兵庫県神戸市で死去

### <主な個展>

- 2014-15 木下佳通代記念館（神戸、兵庫）  
2005 ギャラリー島田（神戸、兵庫） ['14, '16]  
2001 アートギャラリー K（神戸、兵庫）  
1989 AD&A gallery（大阪） ['91, '92, '94, '96]  
1982 トアロード画廊（神戸、兵庫） ['84-'90]  
1977 「自画像 77」アートコア（京都）  
1981 ハイデルベルグ・クンストフェライン（ハイデルベルグ、西ドイツ）  
1974 村松画廊（東京） ['75, '76, '78, '80, '82, '83]  
1972 ギャラリー16（京都） ['73, '78, '80, '82, '91]  
1966 ウィンナ画廊（神戸）

### <主なグループ展>

- 2015-16 「来たるべき新しい世界のために：1968年から1979年における日本の写真と美術の実験」ヒューストン美術館（ヒューストン、米国）グレイ・ギャラリー、ジャパン・ソサエティー（ニューヨーク、米国）  
2008 「中田実郎コレクションと木下佳通代展」ギャラリー島田（神戸、兵庫）  
2006 「木下佳通代&奥田善巳展」ギャラリー島田（神戸、兵庫） ['11]  
1997 「〈私〉美術のすすめ—何故〈WATAKUSHI〉は描かれたか」板橋区立美術館（東京）  
1994 「関西の美術 1950-1970」兵庫県立近代美術館（神戸、兵庫）  
1992 「ビデオ・新たな世界—そのメディアの可能性—」0美術館（東京）  
1992 「いま絵画は—OSAKA'92」大阪府立現代美術センター（大阪）  
1989 「自律的絵画としての写真：実験的形成 1839-1989」クンストハレ・ビーレフェルト（ビーレフェルト、西ドイツ）パイエルン美術アカデミー（ミュンヘン、西ドイツ）  
1988 「第24回今日の作家 多極の動態展」横浜市民ギャラリー（横浜、神奈川県）  
1987 「第5回大阪現代アートフェア'87」大阪府立現代美術センター（大阪）  
1984 「兵庫現代美術展」兵庫県立近代美術館（神戸、兵庫）  
「国際実験芸術展」Petofi Osarnok,（ブタペスト、ハンガリー）  
1983 「現代美術における写真：70年代の美術を中心として」東京国立近代美術館（東京）京都国立近代美術館（京都）  
1982 「紙作品展」ヴィルパリジ市文化センター（ヴィルパリジ、フランス）  
1978 「アート・ナウ'78」兵庫県立近代美術館（神戸、兵庫）  
「第12回東京ビエンナーレ」東京都美術館（東京）  
1977 「第8回 国際青年美術家展」東京都美術館（東京）  
Self-Portrait '77: From the Present to the Present, アート・コア・ギャラリー（京都）  
Hyogo Prefectural Art Festival, 兵庫県立近代美術館（神戸、兵庫）  
1976 「第12回現代日本美術展」東京都美術館（東京） ['77, '79]  
1974 「写真/美術」ギャラリーシグナム（京都）  
「ビデオ/京都/1974」ギャラリーシグナム（京都）  
「シグニファイイング 言語・事物/態度の表明とともに」京都市美術館（京都）  
1972 Exhibition with 奥田善巳, シロタ画廊（東京）  
1963 「京都アンデパンダン展」京都市美術館（京都） ['71-'85]

### 【パブリック・コレクション】

伊丹市立美術館、大阪新美術館建設準備室、京都国立近代美術館、京都市美術館、国立国際美術館、静岡県立美術館、東京国立近代美術館、同志社大学ラーネッド記念図書館、名古屋市美術館、西宮市大谷記念美術館、兵庫県立美術館、ふくやま美術館、和歌山県立近代美術館

【本展に関するお問合せ】ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ 担当：千葉、鈴木

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#316 [Tel] 03-6276-6731 [e-mail]

info@ycassociates.co.jp [website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日